

## News Letter from the Kobe Branch

(9月コスモス)



秋雨前線が過ぎ、風の気配に9月を感じております。  
コロナワクチンも行き渡りはじめ、少しずつ生活が落ち着いてまいりました。会員の皆様、お変わりございませんか。

向学の秋にむけて JAUW 神戸は奨学事業に本腰を入れ、各大学院からの応募学生選考に取り掛かっております。

本部ではオンライン講演会や、奨学生支援活動、支部長報告会など多方面の活動を実施、皆様には松村本部担当から転送でお知らせしております。皆様もぜひご参加なさってください。

GWI 国際関係では、神戸支部会員の Kei Foran さんが第3回ウェビナー会議に出席、貴重な意見発表をされました。皆様、お元気にお過ごしくださいませ。(支部長 平井典子)

### 【報告事項】

◎ 1) 神戸支部在籍会員報告 (会員委員長・宇野)

8月30日現在 正会員数 47名

◎ 2) 神戸支部 (2021年度大学女性協会奨学生募集) 報告 (奨学委員長 唐島)

兵庫県内 20 大学に案内状を送付、以下の 4 大学から 5 名の応募、推薦があり。

☆安田医学奨学生：兵庫医科大学大学院生

☆国内一般奨学生：神戸大学大学院生、  
神戸薬科大学大学院生、  
兵庫教育大学大学院生

(国内一般奨学生として神戸支部からは応募者 3 名の内 2 名を選考、本部へ推薦)

☆神戸支部一般奨学生：神戸大学大学院生

◎ 3) 「2021年度大学女性協会セミナー」について

テーマ「教育・ジェンダー・共生～コロナ後の共生社会を支える教育」

2021年11月14日(日) 10:00~15:00

対面：(40名) zoom：(70名)

対面会場：エッサム神田ホール1号館401号室 03-3358-2889

申込：Google フォーム または E-mail ⇒ [jauw@jauw.org](mailto:jauw@jauw.org)

締切：2021年11月7日(日)

参加費：1,000円 弁当代⇒1,000円(振込期限 11月8日)

振込先：ゆうちょ 銀行 記号番号 10150-11757481

◎ 4) GWI 国際報告 (Kei Foran)

JAUW 神戸支部メンバーとして、私個人が webinar (online zoom session) に出席したのは、2021 年 6 月から 3 回目です。毎回、数カ国から多くのメンバーが積極的に参加され、発表・発言された中での印象をまとめさせていただきます。皆さまとも情報を共有し、神戸支部・JAUW 組織の活性化につながればと願っております。

1. 若い世代の参加

若い世代の積極的参加を促進する目的で、GWI 内に、Young Members Network を作られています。6/12 は、“World Day against Child Labor” を記念し、このグループが webinar を企画。COVID19 pandemic 渦中、経済情勢厳しい中、SDGs, No.8 の目標に即して、child labor の廃止を目指すための会議でした。

8/07 に開催された“Global North South Dialogue”、8/13 に開催された“Connecting Across Generation”においても、この若いグループからの積極的な発表・発言がありました。若い世代の参加を促進することは、組織の存続と活性化のために不可欠と思われれます。

神戸支部内、JAWU 全体においても、若い世代にアピールすることが必要ではないでしょうか？ 奨学生プログラムで選ばれた学生諸氏も、社会人に成長され、メンバーになってプログラムに出席されることも可能ではないでしょうか？

2. 発展途上国と先進国の課題

インド、バングラデシュ、スリランカ、南太平洋諸国、アフリカ諸国などを含む発展途上国出身の女性達が高等教育を受けられて、PhD(博士)の立場でリーダーシップを発揮されているのはすばらしいことです。GWI 会議中、これらの発展途上国からの発表が多く、発言も積極的。ただ、先進国の抱える課題には焦点が当たっていないように思われました。

先進国日本にも課題は多く、SDGs, No.5 の Gender Equality を現実に可能にする道のりは、まだまだ長く続きます。江戸時代に 260 年以上続いた鎖国の後、1867 年に開国を実現して、近代国家としてスタートするためには、黒船を初めとする外圧が必要でした。

この保守的な日本社会で Gender Equality を実現するには、男女共に意識改革が必要で、海外からのサポート、協力、圧力なくしては実現しそうにありません。

日本の状況が十分に理解されているとは思えず、8/13 の GWI ズーム会議の際、発言の機会を得て、日本社会変革のための、海外からのサポート、協力、連携をお願いしました。

今回の東京オリンピック組織委員会の森前委員長の女性蔑視の発言も、SNS の情報拡散により、海外からの批判が高まり、最終的に辞任につながりましたが、情報が国内に止まっていれば、前総理の失言程度で終わっていたかもしれません。日本の社会を動かすには、海外からの協力・連携が必要です。

◎全国支部 zoom 懇話会(2021年8月30日)まとめ (山下いずみ支部担当理事報告より抜粋)  
各支部とも会員への情報提供に苦慮、会員に合わせてメール、Fax、郵送で送る。情報量を取捨選択行っている支部、ウェブ掲示板の利用やメールにリンクを貼るなど工夫をしている支部もある。情報を少し減らすことができないか。  
会員増には奨学生の研究発表を設けるなど若手を引き止める工夫、賛助会員にも支部日より、セミナー等紹介している支部もある。会費の未納会員は、定款では3年未納は会員資格喪失と記載されている。メール情報やオンラインでの支部間交流で、大学女性協会の活動や各支部の状況が見えるようになり、オンライン懇話会は有意義である。オンライン懇話会は大学女性協会活性化と会員同士の交流の場を作るツールとして、今後も継続していきたい。 (参加者 14 支部長、本部役員 4 名) 以上